

2019年 4月4日

2019-BD- 004

アイベックスエアラインズ株式会社

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン



航空機内販売や空路での移動サポートで、水産業担い手育成事業を後押し

宮城県と、地方活性化と仙台空港の利用促進などを目的とした包括連携協定を締結している航空会社のアイベックスエアラインズ株式会社（本社：東京都江東区 / 代表取締役社長：浅井孝男 / 以下、IBEX）と、水産業のイメージをカッコよくて、稼げて、革新的な「新3K」に変え、次世代へと続く未来の水産業の形を提案している一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン（本社：宮城県石巻市 / 代表理事：阿部勝太 / 以下、FJ）の2社が連携し、宮城県内の水産業の活性化に取り組んでいきます。

宮城県内で水揚げされる海産物の航空機内でのカタログ販売や機内エンターテインメントサービスを利用した水産業のPRの実施により、漁師と消費者、海と食卓との距離を縮め、FJの理念やビジョン、アクションに共感する消費者とともに、水産業の新しい「ソーシャルコミュニティ」をつくりあげます。また、新人漁師をはじめとした水産業の担い手を対象にしたIBEX運航便による国内移動サポートにより、FJが宮城県石巻市を中心に実績を積みあげてきた、水産業の未来をつくるための担い手育成事業「TRITON PROJECT（トリトンプロジェクト）」の加速にもつなげてまいります。これらの取組みをきっかけに宮城県を中心に、日本の水産業の未来を一緒につくっていきます。

▼ FJとIBEXの取組みについて

【1】2019年4月1日より、IBEX機内誌「IBEX SKY NAVI」でFJが取扱う海産物の販売を開始します。

商品ラインナップ：漁師直送の活ホヤ7個セット、牡蠣の缶々焼き、牡蠣とバジルのオイル漬け

【2】2019年4月1日より、IBEX機内エンターテインメントサービスを利用してFJの活動動画を視聴できます。

【3】水産業の変革に取り組むFJとFJが取組む水産業の担い手育成事業を通じて全国各地より漁師を目指して宮城県内にやってきている若者たちへ、仙台空港発着を中心としたIBEX運航便による移動時のサポートを行います。対象となる便は仙台＝札幌（新千歳）・名古屋（中部）・小松・大阪（伊丹）・広島・福岡の6路線。

アイベックスエアラインズ株式会社について

仙台空港を運航拠点とし、全国12空港*1に就航している航空会社です。

宮城県の地域活性化、仙台空港の利用促進などを目的として

2018年1月25日に宮城県との包括連携協定を締結しており、
様々な取り組みを行っております。（*1 2019年3月31日現在）

HP : <https://www.ibexair.co.jp/>



一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンについて

漁業のイメージをカッコよくて、稼げて、革新的な「新3K」に変え、

次世代へと続く未来の水産業の形を提案していく若手漁師集団。

新しい水産業の仕組みに関わるすべての人を「フィッシャーマン」

と定義し、2024年までに三陸に多様な能力をもつ新しい職種

「フィッシャーマン」を1000人増やすというビジョンを掲げています。

「フィッシャーマン」という新しい働き方の提案や業種を超えた

関わりによって水産業に変革を起こすことを目指しています。

HP : <https://fishermanjapan.com/>



【本件に関するお問い合わせ】

詳細については、下記連絡先にお問い合わせください

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン 担当：島本

住所：宮城県石巻市千石町8-20

電話：0225-98-7071 FAX：0225-90-4579 MAIL：info@fishermanjapan.com

アイベックスエアラインズ株式会社

住所：東京都江東区新砂1-2-3

広報担当 03-5606-3337
